

# 令和4年第12回（12月）山陽小野田市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和4年12月22日（木曜日） 15時30分 開会

2 場 所 山陽小野田市役所 本館3階 大会議室B

3 出席委員 教 育 長 長 谷 川 裕 職務代理者 砂 川 功  
委 員 竹 田 佳 枝 委 員 中 村 眞 也  
委 員 末 永 育 恵

4 欠席委員 0人

5 委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

|               |         |          |         |
|---------------|---------|----------|---------|
| 教育部長          | 藤 山 雅 之 | 教育総務課長   | 浅 川 縁   |
| 学校教育課長        | 長 友 義 彦 | 埴生幼稚園園長  | 桶 谷 美 和 |
| 学校給食センター所長    | 和 田 英 樹 | 社会教育課長   | 船 林 康 則 |
| 中央図書館長兼厚狭図書館長 | 山 本 安 彦 | 歴史民俗資料館長 | 若 山 さやか |
| 小学校長会会長       | 下 瀬 昌 巳 | 中学校長会会長  | 山 本 時 弘 |
| 書 記           | 野 原 嵩 恵 |          |         |

6 傍 聴 人 0人

7 議事日程

(1) 開 会

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 報 告

(4) 休 憩

(5) 議 事

- ① 報告第11号 令和4年度第2回・第3回山陽小野田市教育支援委員会の結果について  
(学校教育課)
- ② 報告第12号 令和5年度全国学力・学習状況調査への参加について (学校教育課)
- ③ 報告第13号 第2回山陽小野田市人権教育推進協議会の結果について (社会教育課)
- ④ 報告第14号 第2回山陽小野田市子ども読書活動推進計画（第四次計画）検討委員会の結果について  
(中央図書館)
- ⑤ 報告第15号 山陽小野田市子ども読書活動推進計画（第四次計画）案の答申について  
(中央図書館)
- ⑥ 報告第16号 第1回山陽小野田市図書館協議会の結果について (中央図書館)

(6) その他

- ① 県費負担教職員の人事について
- ② 市職員の人事について
- ③ その他

(学校教育課)

(教育総務課)

(7) 閉 会

---

開 会

○長谷川教育長

それでは定刻になりましたので、12月の定例教育委員会会議を開かせていただきます。本日は委員全員ご出席ですので、会議が成立していることをご報告させていただきます。

---

会議録署名委員の指名

○長谷川教育長

会議録署名委員の指名を行います。今回は竹田委員、末永委員よろしく願いいたします。

---

会議非公開の決定

○長谷川教育長

本日の議事日程の中の「6. その他」の「県費負担教職員の人事について」及び「市職員の人事について」は、特定の個人に対する審議であり、公開することにより、職員との信頼関係が損なわれると認められるとともに、人事の適正な執行に支障が生ずると認められるため、非公開にしたいと思います。これに賛成される方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

全員賛成と認めます。それではレジュメに沿って進めてまいります。

---

各課・館業務の報告

○長谷川教育長

まず報告事項に入ります。それでは、私から12月議会一般質問の概要について報告させていただきます。

まず、藤岡議員から「中学校部活動の地域移行について」問われました。学校の部活動については、

少子化に伴い、学校規模が縮小し、教員数も減少していくことから、現在の部活動の維持が難しくなること。さらに、部活動指導による長時間勤務に伴う中学校教員の心身の負担増大にもつながっていることが指摘されています。今年の6月と8月に国に示された提言では「部活動の地域移行は、単に部活動を学校から切り離すということではなく、子どもたちの望ましい成長を保証できるよう、地域の持続可能で多様な活動環境を一体的に整備し、地域全体で子どもたちの多様な活動の機会を確保することが必要である。」と示されています。市教委としましても、部活動の地域移行は、本市の子どもたちの心身の健全育成と生涯にわたってスポーツや文化活動に取り組むことができる機会や環境を確保することが大きな目的であり、市全体で取り組むべき課題と捉えています。そこで、本市では、実情に応じた段階的な地域移行が進められるように学校教育課と市長部局と連携を図りながら課題解決に向けた取組を進めていく旨の回答をいたしました。

次に、古豊議員から「ヤングケアラーについて」問われました。ヤングケアラーについては総合教育会議でも取り上げられていますが、子どもたちが家庭の抱える問題によって、本来得るはずの学びや経験を奪われることはあってはならないことだと考えています。そこで学校では、未然防止、早期発見に向け、日々の細やかな声掛けをはじめとして、週一回の生活アンケート、学期毎の教育相談、中学校では生活ノートを活用したやり取りを通して、子どもたちの変容や困り感をいち早く捉える取組を行っていること。そして、支援が必要な場合には、ケース会議を行いスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどの専門家につなげたり、関係機関とのネットワークを活用したりするなど、多様な支援方法を用いて課題解決の対応を行うことを回答しました。

次に、山田議員、前田議員、恒松議員から「不登校児童生徒の現状と課題に向けた取組について」問われました。このように多くの議員から質問があったのは、マスコミにおいて、「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果が大きく取り上げられたことによるものと思います。その調査では、不登校児童生徒数は全国・山口県また、本市においても増加傾向となっており、喫緊の課題と捉えています。そこで未然防止、早期発見の観点から、魅力ある学校づくり、自己肯定感を育む教育活動の充実、そして、教育相談機能の充実などを図っていること。そして、様々な理由により登校できない児童生徒に対しては、主体的に社会的自立や学校復帰に向かうよう、児童生徒自身を見守りつつ、適切な支援や働きかけを行う必要があるため、ケース会議を行い、適切な支援につなげる働きかけに努めていること。そして、その支援の一つとして、ふれあい相談室やフリールームを設けていることなどを紹介しました。

次に、白井議員から「小中学校で始まったICT教育について」問われました。この一般質問は、学校での一人一台端末の活用状況について、広く市民の皆さんに知っていただきたいという趣旨で行われたもので、タブレットの授業での活用状況や教師の技能向上に向けた取組、家庭への持ち帰り状況、不登校対策としての活用など多岐にわたりましたが一つひとつ丁寧に説明させていただきました。

一般質問の内容は以上ですが、多くの議員から本市教育の現状について問う質問が多くありました。教育に対する関心の高さが伺え、大変うれしく思った次第です。

その他、土日に行われた行事についてご報告させていただきます。私が出席したものとして11月26日、県教育会主催の厚狭地区教育振興フォーラム、11月27日山陽小野田市連合女性会主催の生涯学習フェスタ、12月4日サビエル高等学校60周年記念式典、12月10日ヒューマンフェスタさんようおのだ～人権を考える集い2022～、これらに出席させていただきました。

私からの報告は以上です。何かご質問等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。

それでは教育部長、よろしく申し上げます。

○藤山教育部長

私からも議会関係について、ご報告いたします。

12月定例議会が、一昨日の20日の本会議をもって、20日間の日程を終了し、閉会いたしました。

今議会における教育委員会関係の議案は、令和4年度から令和10年度までを事業期間とする統合型校務支援システム導入事業の債務負担行為の追加、寄附金を財源とした図書購入費、校用器具費及び園用器具費の増額、電気代不足等による光熱水費、燃料費の増額、そして、物価高騰による学校給食食材費購入への影響に対応するための賄材料費の増額と、その増額分について保護者ではなく市が負担するべく、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当することを盛り込んだ令和4年度第7回一般会計補正予算でしたが、20日の本会議において、原案が全員賛成で可決されました。

次に、教育長からも報告がありましたが、議会の一般質問についてです。

今議会では4日間で議員13人が登壇され、このうち教育委員会には10人の議員から質問がありました。

私に対応いたしました主なものは、まず、中岡議員から学校給食センターの現状と課題として、異物混入への対応と地産地消の取組について質問がございました。この質問につきましては、策定しております学校給食における異物混入防止マニュアルを遵守し、より一層の注意を図るとともに、食材の納入業者への指導等を行うことで、異物混入の防止に努め、地産地消につきましては、関係団体との調整を図り、地場産の食材利用率向上に努力すると答弁いたしました。

矢田議員からは、旧津布田小学校の管理の現状について問われました。これにつきましては、グラウンド等の草刈は年2回程度行うこと、遊具や外トイレは安全上、衛生上の観点から使用禁止とされていること、プールは、消防水利として水を張った状態で維持していることを答弁いたしました。

吉永議員からは、学校の特別教室へのエアコン設置予定について質問がございました。この質問につきましては、全体の学校施設整備を睨みながら、エアコンの設置を考えていくと答弁いたしました。

中島議員からは、学校給食について、全児童生徒を対象とした給食費無償化を実施する考えはないか、実施できなければ、多子世帯を対象とした無償化を実施する考えはないかを問われました。これにつきましては、給食費の完全無償化は、子育て世代の負担軽減策として効果があることを示したうえで、実施にあたっては相応な財源が必要であり、国の補助金や交付金といった恒久的な特定の財源確保が見通せない状況において、その実現は難しいと答弁いたしました。また、多子世帯への学校給食費の無償化についても実施する考えはないと答弁いたしました。

そして、最後になりますが、恒松議員からは、小中学校に設置している遊具、体育用具、樹木等の安全対策の取組について質問がございました。この質問につきましては、法令により行う安全点検の他、学校が行う日常点検、専門業者による点検等を通じて、異常等を事前に察知し、適切な対応を行うことで、学校施設の安全を確保していると答弁いたしました。

私からの報告は以上でございます。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等がございますか。給食費の無償化については先ほどありました、支援の必要な家庭については就学援助費等活用しながら今現在対応しています。多子世帯につ

いてもそれが適用されるようになっていくというふうな現状も報告されたと思います。

それでは教育総務課長、よろしくお願いします。

#### ○浅川教育総務課長

はい。教育総務課からは3点ご報告させていただきます。

1点目は寄附採納の報告です。別紙の寄附採納一覧表をご覧ください。今回は個人の方から現金1万円、「森のなかまたち」様から児童図書のご寄附がありました。

次に、2点目が共催後援の報告です。別紙共催後援一覧をご覧ください。この1か月間、教育委員会が共催後援を承諾した行事等の一覧となりますので、ご覧いただければと思います。

3点目が教育総務課関係の事業についてご報告します。まず、高千帆小学校の校舎建築事業については、内装工事に入っており、工事が順調に進んでおります。

次に厚狭中学校法面整備工事については、年内に完了する予定です。給食配送車の通行については、1月に給食センター等と調整後、通行可能となる予定です。

続きまして、高泊小学校法面災害復旧工事については、入札をし施工業者が決まりました。工期は来年3月末で、今後は工事の準備をして、2月の始めから法面工事にかかる予定です。今のところ、進入路の完全通行止めの予定はありませんが、工事を進める中で1車線のみ通行可能といった制限も出てくるかと思っておりますので、来校者にはご迷惑をおかけすることになりますが、児童や来校者に対する安全面に、最大限配慮してまいります。

続きまして、旧津布田小学校の跡地についてでございます。先週の土曜日12月17日に、旧小学校の今後の活用と現在の維持管理について、地域の方20名と意見交換をしました。市からの出席は、今後の利活用を検討する企画部職員と、現在維持管理をしている教育部長、教育総務課職員が出席しました。1回の会議だけでは結論が出ませんので、今後も企画部が中心となって、意見交換をしていくことになると思います。

教育総務課からは以上です。

#### ○長谷川教育長

はい、ただ今の報告に何かご質問等はございますか。高泊小学校の法面の工事については、学校ともよく調整して、教育活動に影響が出ないようにお願いできたらと思います。

それでは学校教育課長、お願いします。

#### ○長友学校教育課長

学校教育課です。

まずは新型コロナウイルス感染症についてです。11月末から新型コロナウイルス感染症に感染する児童生徒が急増しております。12月に入り、小学校で5学級、中学校で5学級と2つの学年を閉鎖しました。感染経路については不明、または家族内での感染というのが多くあります。市教委では学級内の陽性者数や児童生徒の健康状況をもとに校長の意見、学校医からの助言を得る必要に応じて学年・学級を閉鎖する措置をとっております。陽性となった子ども達や濃厚接触者となった子ども達へは1人1台端末を活用してオンライン授業等を実施し学習保障に努めております。学校に来ている子ども達は日々楽しく過ごしておりますので、その様子を欠席している子どもにも伝え、早く学校に行きたいという気持ちを持たせることができるよう、各学校が工夫して取り組んでおります。

続きまして、令和4年度文部科学大臣表彰学校保健及び学校安全表彰について報告します。文部科学省は、学校保健や学校安全の普及と向上に尽力し多大な成果を上げた学校保健や学校安全関係

者に対して、毎年度表彰を行っております。この度本市においては有帆小学校の学校医を39年間勤められ今年度末をもって勇退される高橋寛彦様が学校保健の部で表彰を受けられました。また、小野田校区児童安全評議会代表 中務敏文様が平成18年から15年以上継続し、延べ1千人以上もの方々が携わった登下校の見守り、挨拶運動、危険時の救助等の功績が認められ、学校安全ボランティア活動奨励賞を受賞しております。今年度は高千帆小学校も学校安全において総理大臣表彰を受けており、山陽小野田市の地域ぐるみの安全見守り活動が全国的に評価されているものと考え、嬉しく思っております。

最後に図書システムです。ようやく図書システムが各学校へ設置され、本格稼働に向けて準備を進めております。学校図書館の図書にも新しいバーコードが貼られ、着々と準備が整っているところです。バーコードの貼付については保護者・地域のボランティアの方々にご協力をいただきました。公立図書館との連携もできることから子どもがより一層本に親しみ、読書活動が推進できる取組を進めてまいりたいと考えております。

明日で2学期が終了します。学校行事も新型コロナウイルス感染症対策を十分にとって、主な活動はすべて実施することができ、計画していた教育活動が全てできたというふうに思っております。これから冬休み、それから3学期を迎えますが、特に中学3年生にとっては受験を控えた大切な時期となります。市教育委員会としましては、子どもたちが自分の夢に向かって進むことができるように、学校と連携して取り組んでいきたいと考えております。

以上で終わります。

#### ○長谷川教育長

はい、ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

学校のほうも明日で2学期が終わります。実は昨日校長会を開いて、新しい希望の年を迎えられるように事前の指導をしっかりと子ども達にも教職員にも行ってもらうように指導いたしました。一応ここでご報告させていただきたいと思います。

はい、それでは埴生幼稚園長、よろしく申し上げます。

#### ○桶谷埴生幼稚園園長

埴生幼稚園です。よろしく申し上げます。

園の様子を5点ほどお伝えします。

まず11月20日に埴生ふれあい文化祭に参加しました。3年ぶりのステージ発表、そして埴生地域交流センターになって初めての文化祭でした。歌とダンスを披露することができ、地域の方たちに元気とスマイルを届けることができたのではと思っております。資料の「埴生幼稚園新聞」に掲載しておりますので、後ほど見ていただけたらと思います。

次に保育発表会についてです。11月26日に保育発表会を行いました。室内での開催ということで入室できる人数を制限し、感染症対策を取りながら1部制の発表会を行いました。保護者からは「我が子だけでなく全園児の演技を見ることができて感動した、よかった」という声をいただきました。また、運動会や発表会に人数制限を設けたため、園の行事に参加していただくことができなかった祖父母の方に、祖父母参観を2日間に分けて行いました。遊戯を見ていただいたり、自己紹介をしたり、ふれあい遊びをしました。子ども達だけでなく祖父母の方のとても嬉しそうな表情が特に印象的でした。

3点目は餅つきについてです。前日に年長組がもち米を洗い、翌日には「白くなっている」「ちよっと大きくなっている」という発見もたくさんあり、自分達でお餅をつき、丸めておいしくいた

だきました。このもち米は埴生小中学校の児童生徒が「ハーブネット農園」で育てたもち米を商品化され、埴生ふれあい文化祭で販売されていました。そのもち米を購入し使用しました。この一貫した活動を幼小中で繋げられることは、埴生地区ならではのことであります。

続いて不適切な保育に関する対応についてです。最近保育士による虐待事件が盛んに報道されておりますが、子どもを持つ保護者のみならず私たち関係者にも大きなショックと心を痛める出来事でした。職員会議やミーティング時に再度、教育活動にあたって安心安全が最も配慮される幼稚園で幼児の心身に悪影響を及ぼすことがあってはいけないことを周知いたしました。本園では不適切な保育はありませんが、子ども一人一人をよく理解し適切な信頼関係を築くこと、日頃から自らの指導の在り方を見直し、保育の質、指導力の向上に取り組んでいきたいと思っております。

最後に中村教育委員さんをはじめ他2名の埴生小・中学校ボランティアの皆様のご厚意で、園内の植栽を選定していただきました。覆い茂っていた木々もさっぱりと綺麗になり、見通しもよくなりました。ありがとうございました。木々の隠れた部分からフェンスの破損も見られました。教育総務の方には伝え、今協議をされているところです。

幼稚園からは以上でございます。

#### ○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

やっぱり声を上げるべきですね。手伝いにボランティアの方が参加していただいて、本当にありがたいというふうに思います。環境整備、またよろしくお願いします。

はい、では学校給食センター所長、お願いします。

#### ○和田学校給食センター所長

学校給食センターです。よろしく申し上げます。

12月17日に親子食育教室を開催いたしました。本来7世帯16人の方が参加される予定でしたが、1世帯2名ほどの欠席がございましたので、6世帯14人での開催となりました。新型コロナウイルスの感染者が多い状況が続いている中での開催となりましたので、気温の低い日ではありましたが、常時窓を開けておくなど感染症対策を徹底して行いました。今回は歯と口の健康づくりについて講義をしたのちに、歯に良いメニューを作って食べようということをテーマに親子で調理実習を行っていただきました。皆さん親子で楽しそうに調理され、美味しくできていたようでした。

2学期も明日で終わり、学校給食も明日までとなります。今学期は特に今月に入りまして学年閉鎖や学級閉鎖が数多くありましたが、納入業者さんのご協力等もいただきながら、特に大きな問題もなく対応できているところでございます。

学校給食センターからは以上です。

#### ○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

コロナの関係で給食センターには食数をいろいろ変えていただいたり、急な対応をとってもらいようお願いすることが多かったと思います。本当によく対応していただきましてありがとうございます。感謝を申し上げます。

それでは社会教育課長、お願いします。

#### ○船林社会教育課長

はい。それでは社会教育課から数点ご報告いたします。

まず優良公民館表彰の受賞についてです。この度有帆地域交流センターが文部科学省の令和4年

度優良公民館表彰を受賞することが決まりました。受賞の理由として、学校・家庭・地域の連携協同活動が活発に行われ、地域と学校が共同で行う合同学習フェスタや、地域住民で企画する住民参加型の学びとふれあいカフェ、地域の編成委員と一緒に作成するセンター広報誌などがあげられ、積極的に人づくり・地域づくりを推進していることが評価されたものと考えております。なお昨年度は埴生公民館が同じく優良公民館表彰を受賞しており、本市から2年連続の受賞の栄誉となりました。

続きまして市連合女性会の岡部つや子会長がこのほど山口県選奨規則による教育功労者として県選奨を受賞されました。これは山口県連合婦人会の副会長として、また、山陽小野田市連合女性会の会長として長年勤められたことが受賞の理由となっております。授賞式は11月18日に執り行われております。

続きまして、お手元に資料を用意しておりますが、「雪舟等楊像」の絵画が国の重要文化財に指定をされる運びとなりました。これは山陽小野田市在住の個人の方が所有されます雪舟の肖像画の絵画「絹本着色雪舟等楊像」が国の文化審議会において重要文化財に指定するよう答申されたものです。今後官報告示を経て正式な指定となりますが、指定をされますと本市の絵画の重要文化財の指定というのは初めてとなります。なおこの絵画は通常個人から県立美術館に寄託をされておりますが、来年度県立美術館において県内の他の指定絵画と併せてお披露目の会を催される予定となっております。

続きまして地域交流センターのアンケートを実施いたしました。アンケートの集計結果をお配りしております。本年度より公民館が地域交流センターとなりましたことに伴って、効果的な役割を果たしていくための基礎資料として活用するために、地域交流センターアンケートを実施いたしました。アンケートの集計結果については後ほどご確認いただけたらと思っておりますが、この中で数点注目したい報告がございます。まず開いていただいて、問2ですが、アンケートの回答者8割が女性であるということ。また問3は70歳代の方が一番多いということ。これらによって今後はやはり男性、それから若年層を意識した取組の必要性というのが見えてまいります。また問9ではセンターが充実すべきサービスとして、主催講座が最多となっております。また問12の意見の中には、たくさんの意見をいただいたわけですが、その中でも「正直、今の利用者は高齢者、暇な人という感じです。民間のプロにちゃんとお金を払ってでも受けておきたいという内容でもないし」というような厳しい意見もございました。これは主催講座の質の向上も求められていると考えております。このアンケート結果を貴重なご意見として参考にし、センター長と共に今後の主催講座・主催事業の内容について検討していきたいと考えております。

続きまして行事の報告になります。資料はございませんが、11月23日に市の観光協会と共同で旦の皿山をめぐる行事を開催いたしました。案内人に山口大学の助教 田畑直彦氏をお迎えして、旦の登り窯や瓶垣、旧河野製陶所の近代化産業遺産を巡りながら解説を聞き、約6キロの巡回コースを散策いたしました。参加者は40代から70代の22名でした。そしてその7割が初めて旦の皿山を訪れたという意見をいただきました。改めて市内の気付いていなかった魅力を知ることができたとの声をいただきました。こうした取組を継続し、少しずつでも郷土愛の醸成につなげることができれば、と考えております。

続きまして12月2日に小野田中学校区家庭教育支援チームによる親の学びプログラムを開催いたしました。この会は保護者同士の交流やつながりを目的としたものですが、過去2年間、計画はしておりましたがコロナの影響で実施できず、今年度も8月に実施する計画でしたがこの度規模を

縮小して12月にやっと実施することができました。内容は8名程度のグループですごらくトークを行い、出た升目に書かれている簡単なお題目についてお話をするというものですが、トークが進むにしたがって共感したりうなずいたりしながら、和やかな雰囲気でした話し合いが進みました。参加者からは「アットホームでとても良かった」「中学校の様子が聞けて良かった」など多くの声が上がりました、充実したプログラムになったものと考えております。

続きまして新聞記事でございます。社会教育課の新聞記事1枚目、「平和の集い」です。11月18日に厚陽小・中学校で「平和の集い」を開催いたしました。講師は広島県原爆被害者団体協議会の<sup>くわもとかつこ</sup>栗本勝子先生をお招きし、お話をさせていただきました。子ども達には想像もできないような体験証言と平和の継承者としての自覚を促すメッセージなど、平和の尊さについて子ども達の目を見ながら語りかけていただきました。

続きまして3枚目ですが、埴生ふれあい文化祭、先ほど幼稚園でも出ましたが、11月20日21日に埴生地域交流センターにて埴生ふれあい文化祭が開催されました。これは新施設になって初めてステージを本格的に利用した催しとして開催されました。歌や踊り、演奏などで盛り上がったということでございます。また司会を中学生が担当したり、バザーでは学校のハーブ農園で収穫したもち米を小学生が販売するなど、隣接した学校との連携の強みを生かした取組も行われました。

続きまして、「ヒューマンフェスタさんようおのだ」です。12月10日に「ヒューマンフェスタさんようおのだ」が開催され、約180人の参加者がございました。山口東京理科大学の堤千佳子教授により「ダイバーシティ（多様性）と地域社会」というテーマで講演が行われ、多様性について考える機会となりました。また、人権に関する児童生徒のポスター作品をロビーに展示し、人権啓発活動として広く市民に人権を意識していただく機会となりました。

最後に「LINE教室」という記事がありますが、市の公式LINEが12月1日から運用されておりますが、それに関連し高齢者を対象としたLINE教室を厚狭・小野田の両地域交流センターで開催しました。参加者は両会場とも定員いっぱいとなり、関心の高さがうかがえるものとなりました。参加者からの反応も良くて、年明け1月からは全ての地域交流センターにてデジタル推進室の協力のもとでスマホ講座を開催する予定としております。

社会教育課からは以上でございます。

#### ○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

アンケートを実施した結果の報告がされましたが、センター化されたメリットをいかに出していくか、というところが住民の方に期待されているところなのではないかな、と。先ほどあったようにお金がかかっても良い講師を呼んでいろんな活動ができるようにできたら。生涯学習の要素も入ってくると思いますが、社会教育ではない部分もこれから充実させていく必要があるのかな、と少し考えました。またそういったことを考える材料にしてもらえたらというふうに思いました。

#### ○船林社会教育課長

はい。分かりました。

#### ○長谷川教育長

それでは次に参ります。図書館長、よろしく申し上げます。

#### ○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

市立図書館からご報告申し上げます。市立図書館関係資料をご覧いただけたらと思います。

中央図書館では11月・12月の行事報告の中で11月27日第9回（通算14回）図書館フェ

スティバルを開催いたしました。今回の新しいこととして、本山小学校の児童による本山太鼓の演奏、「よりこと社長」によるトランペットとチューバの演奏、そしてキッチンカーにも出店していただきました。そして厚狭高校の総合家庭科服飾作品の展示も、今回初めて展示させていただきました。

それから資料展示につきましては、10月30日から11月27日まで、サビエル高校のお薦めの本の展示を中央図書館で行いました。

それから12月・1月の行事の予定ですが、1月14日、サビエル高校に6人の留学生が来ておりますが、その6人の国々のお正月についてギャラリートークをしていただくことにしております。現在展示ホールで6人の留学生がパネルにした資料を掲示しております。その資料に基づいてギャラリートークをしていただくことになっております。それから資料展示については今月の12月2日から12月28日まで、小野田中学校の生徒によるお薦めの本の展示を開催中でございます。この一覧には載っておりませんが、12月2日から「シェフの本棚」というのを開設いたしました。これは敦煌の総料理長のお薦めの本の展示でございます。これにつきましては市の広報の12月15日号でご案内させていただきました。これをずっと続けていこうということで、ご協力をいただいております。

厚狭図書館については11月・12月の行事報告の中で12月3日歴史講座「徹底比較 毛利氏と徳川氏」を開催いたしました。例年この歴史講座にはたくさんの参加者がありますが、今回もたくさんの参加者がございました。

それから12月・1月の行事予定の中で、12月24日今度の土曜日ですが、中央図書館でも行いました『特別映写会「ドライブ・マイ・カー」』を開催いたします。もうすでに満席になっているようです。中央図書館でも厚狭図書館でも満席になるという、関心の高さがうかがえる映写会です。あといくつか新聞記事を付けておりますが、ご覧いただけたらと思います。

図書館からは以上でございます。

#### ○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

図書館のイベントの紹介をしっかりと見ないと、楽しい企画を見落としてしまいそうですね。ありがとうございます。私も料理に関心があるので、本を借りに行きたいと思います。

それでは歴史民俗資料館長、よろしくお願いします。

#### ○若山歴史民俗資料館長

はい。歴史民俗資料館よりご報告いたします。

新聞記事と資料のほうをご用意しておりますので、そちらをご覧ください。

現在『企画展「窯のまち」』を開催しております。12月3日には記念講演会を開催し、山口大学埋蔵文化財資料館の助教 田畑直彦先生に「考古学から見た小野田の硫酸瓶」と題してお話をさせていただきました。硫酸瓶を作っていた旦の皿山の歴史や、今現在も地域に残っている遺構・遺跡がとても貴重で大切にしていかなければならないふるさとの遺産であるということ、多くの方に理解していただけた講演会だったと思います。また今後の資料館の活動にも繋げていかなければならないと感じました。そのほかに行いました活動につきましては資料の方にあります。来月につきましてもギャラリートーク等、地域交流センターでの講座等も開催します。

資料館からは以上です。

#### ○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

この窯のまちの企画展、私も見に行っても分かりやすく展示してあるなど印象に残りました。これは館長の力作ですよね。ぜひ足を運んでいただけたらと思います。

はい、それでは小学校長会長、お願いします。

#### ○下瀬小学校長会長

はい。小学校長会から3点報告します。

1点目は2学期の終了についてです。長い2学期も明日で終業式を迎え、76日間の授業日数を終了します。2学期は9月から11月まで順調に学校行事・教育活動を進め、修学旅行をはじめ多くの行事が開催できました。しかし12月にはコロナ感染症の急増で第8波に入ったような印象があります。市内でも学級閉鎖を行う学校もあります。昨日と本日の保護者懇談会については急遽中止した学校、延期した学校、それから陽性や濃厚接触となった児童の保護者に対してタブレットを使ってリモートで実施した学校もあります。懇談会は通知表を渡すだけでなく学校での学習状況や生活面での良さ、課題について学校と家庭が意見を交換し相互で理解を深め、ベクトルを同じ方向にむけ、今後の成長につなげていく大切なものとして位置付けてあります。どうにかして実施したいものです。

2点目は、学校の教育活動の振り返りについてです。12月は本年度の教育活動を振り返り、来年度の教育計画を立てていく時期になります。現在は感染症の対策で中止しているもの、あるいは縮小しているものをどのようにするか、コロナの流行る前の状態に戻すのではなく一つ一つ教育活動のねらい、目指す姿を考えながら創意工夫をしていくカリキュラムマネジメントが重要だと考えています。このカリキュラムマネジメントについては小中合同で作成している学校・地域連携カリキュラムが大変重要な役割を果たしておりますので、小中連携の教育課程会議を教頭・教務主任が出席して1月に実施するようにしております。

最後です。児童の自発的自主的活動についてです。本校では本日多くの学級でいわゆるお楽しみ会を実施しておりました。児童にとっては同じ学級の仲間との絆を深めるものであって、児童が会の運営を主体的に進め自主的に実行する場があります。また、仲間・集団での行動を学び社会性を身に着ける場としても有効です。10月には児童会主催の縦割り活動の集会活動も実施しております。ただ2年前から感染症対策でこのような活動が中止、あるいは規模縮小となっており、特別活動を通じて児童の主体性や自治能力を伸ばしていく指導に、今後は力を入れていきたいと考えております。

以上、小学校長会からの報告でした。

#### ○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

はい、私も同意見だなと思うことがありました。、やはりアフターコロナを見据えてもう一度いろいろな学校の教育活動、これを原点に戻って見直して、何のためにそれをやっているのか、なぜそれが生まれたのか、そういったところの目的をしっかりと再確認しあう、そういった場をぜひ設定していただいて改善に生かしていただきたいと思いました。よろしくお願いします。

それでは中学校長会長、お願いします。

#### ○山本中学校長会長

はい。中学校も2学期の評価が終わって、多くの学校が昨日から本日にかけて保護者懇談会を実施しております。しかし、にわかにコロナが猛威を振るって、学級・学年閉鎖を実施せざるを得な

い学校もあります。登校できない3年生についてはタブレットを利用してリモートでの授業の他、受験関係文書の作成指導も行なっております。すでに入試が始まっておりますので、その手続き等もリモートによるものを使ったりもしております。全生徒の懇談を冬休みも活用して実施する予定です。

その他2点、ご報告申し上げます。

1点目は毎年この時期に実施している新生徒会の発足に向けた生徒会役員選挙についてです。先月末から候補者が選挙運動を展開して、先日、立ち合い演説会を実施したのち、投票が行われました。業務改善の観点からいえばタブレットを活用した投票・集計が考えられるのですが、やはり公職選挙法のもと実施されている選挙の疑似体験や子ども達が集計作業をすることは大切であると考えて、今年も市から投票箱、投票用紙の記載台を借用して実施しました。本校では今年も女性の生徒会長が選出されました。生徒会による主体的・自主的生徒集団の活動や実践を通じて、望ましい集団や個人の育成に努めています。こういった生徒会活動を通じた意見の交わし合いや行事等に取り組んで得られる感動や達成感は、とても重要な積極的で開発的な生徒指導と考えております。全校生徒と一緒に活動する行事も今学期は多かったのですが、行事ごとにどの学校でも生徒集団のまとまりや成長につながっています。本年度取り組んできたことや築いてきた校風・文化を新生徒会に継承するため、新旧生徒会役員がこれから引継ぎを行ってまいります。リーダー研修も実施することとしています。

2点目は学校評価の取組についてです。小学校からもありましたが、2学期末には本年度の取組事項について生徒・保護者・教職員にアンケートを実施するなどして、成果と課題を検証してまいります。残念なことは保護者アンケートを 구글フォームで作成し、ご回答をお願いしているのですが、帰ってくる回答数が年々少なくなっている傾向があります。ご協力をお願いしていきたいと思っております。こういった評価を実施し成果を明らかにすることは、効果が出ている場合は私達や子ども達の励みにもなりますので、さらなる活動意欲に繋がると考えております。課題を明らかにすることは、これを見えるものにして取り組んでいくことを体感といいますか感じ合って「次からこうしていこう」という活動意欲に結び付けていきたいというふうに考えております。

最後に明日、終業式を行います。生徒だけでなく私や教職員も含めて、自身の一年間を振り返るように伝えたいと思います。振り返ることによって現実を直視したり、これからはこうしたいという明日からの未来へつながる準備だと考えております。振り返りによって気付いたこと、教育長も言われましたが、新年にはそれぞれが新しい目標を掲げて意欲を持って取り組むように出発させたいというふうに考えております。

以上です。

#### ○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

山本校長、今アンケートの件がありましたけれども、今言われたことをしっかりプリントにして保護者に送ってください。何のためにアンケートを実施するのか、今とても心のこもった良い言葉だったと思います。それを保護者に伝えてもらえたらと思います。やはりそれが子ども達の励みとか自己肯定感に繋がったり、教員の励みにもなります。大事なアンケートなんだというお知らせをしていただけたらと思います。

#### ○末永委員

いいですか。

○長谷川教育長

はい、どうぞ、末永委員。

○末永委員

はい。アンケートのメールがたびたび届いているのは気付いておりました。私は期限内に送りましたが、昨日も届いていたような気がします。たぶん保護者がアンケートをしたことと結果が保護者自身にはあまり結びついていないような感じがします。アンケートをして、結果が届いて、その結果を見てその先の課題ですよね。例えば中学生だったら自宅学習がこういうふうになっているけどこの能力が伸びていない。では、何が足りないのかなっていうところまで考えるとすごく効果もあるものとなり、保護者も必要性を感じると思います。学校の先生方にとっても必要な具体的内容になると思いますので、ぜひ保護者の中でも繋がるように、保護者が理解できる手紙でもいいと思います。いろいろとアンケートもネットでできるものが増えていますが、その結果がいつ来て、どう結びついてというのがなかなか・・・何個かあるので保護者もちよっと分からないという人が多いように見えますね。結果の出し方ももっと分かりやすくなるといいのかなと思います。

○長谷川教育長

集計はずいぶん楽になったと思います。結果の公表もホームページにほとんどの学校が出していると思いますが、ただ、なかなか保護者の方がそれを見るところまで行っていない、もう少し分かりやすくする工夫が必要だ、というふうなことを今、指摘されたのではないかと思います

○末永委員

そうです。

○長谷川教育長

何かありますか。

○山本中学校長会会長

はい。学校運営協議会でいろいろご報告をしているのですが、保護者の方に協議会で報告するほどのことはしていません。その辺はやはり、保護者がアンケートに答えて、その見返りといえますか、その内容でどのようにしたかというのは明らかに示していくことが必要かなというふうに思いました。ありがとうございました。

○長谷川教育長

よろしいですかね。

○末永委員

はい。

○長谷川教育長

はい、それでは報告が終わりました。

---

### 次回の会議日程

○長谷川教育長

それでは次回会議日程について、教育総務課長よろしく申し上げます。

○浅川教育総務課長

はい。お手元に令和5年の教育委員会定例会開催日程（案）をお配りしております。ご覧ください。1月の定例会は令和5年1月26日木曜日、14時00分から、場所は給食センターです。以上です。よろしくお願いいたします。

○長谷川教育長

はい。これが最新のものです。今回は待望の学校給食センターでの給食の試食ということになると思います。給食センターには総合教育会議の関係で日程が前後してしまって、本当に申し訳ないと思っております。よろしくお願いいたします。

よろしいですか。それでは前半を終了いたします。お疲れさまでした。

---

16時24分休憩

16時27分再開

---

報告第11号 令和4年度第2回・第3回山陽小野田市教育支援委員会の結果について

○長谷川教育長

はい、それでは議事に移ります。議案第11号「令和4年度第2回・第3回山陽小野田市教育支援委員会の結果について」事務局、お願いします。

○長友学校教育課課長

はい。「令和4年度第2回・第3回山陽小野田市教育支援委員会の結果について」ご報告いたします。11月24日木曜日、13時30分から17時まで中央図書館にて第2回山陽野田市教育支援委員会を実施いたしました。第2回の委員会では、小中学校在籍児童生徒についての就学に関する審議を行いました。34名が中学校での在籍を継続、うち、1名が条件付きでの在籍の継続が可能、30名が在籍変更を希望しました。審議の結果、30名の在籍変更、1名につきましては条件付きで在籍変更といたしました。続いて第3回についてです。資料4ページになりますが、第3回は12月1日木曜日、13時30分から15時30分まで、山陽小野田市役所大会議室にて実施いたしました。第3回の委員会は来年度小学校に入学する幼児についての審議でございます。11名の審議が行われました。そのうち1名については宇部総合支援学校、10名の幼児については居住地の小学校の特別支援学級への通級が適切であると審議をいたしました。

以上で報告を終わります。

○長谷川教育長

はい。この件に関しましてご意見ご質問等ございましたらお願いします。

よろしいですか。それでは採決いたします。報告第11号「令和4年度第2回・第3回山陽小野田市教育支援委員会の結果について」原案どおり決することにご異議はないでしょうか。賛成いただける方の挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

はい。賛成多数により報告第11号は承認されました。

---

報告第12号 令和5年度全国学力・学習状況調査への参加について

○長谷川教育長

それでは次ぎ、報告第12号「令和5年度全国学力・学習状況調査への参加について」事務局、説明をお願いします。

○長友学校教育課課長

はい。「令和5年度全国学力・学習状況調査への参加について」ご報告いたします。6ページをお開きください。6ページにありますとおり、令和5年度全国学力・学習状況調査は令和5年4月18日火曜日、小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒。内容といたしましては国語、算数・数学、中学校については英語、さらに質問紙調査を実施します。この全国学力・学習状況調査は上の方の「目的」にもありますように、「学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる」ということが大きな目的となります。本市も学力・学習状況調査に分校を除く市内小中学校が参加することを報告いたします。

以上です。

○長谷川教育長

はい。ではこの件に関しましてご意見ご質問等ございましたらお願いします。

私から1件お願いします。最近タブレットを使ってこういった調査が行われることが多いですが、来年度についてそういった連絡はありましたか。

○長友学校教育課課長

はい。タブレットの利用につきましては、質問紙調査についてはタブレットの利用をということ聞いております。今後はCBTと言われますタブレットを使ったテストも今後盛んになっていくと思われしますので、これについてもまた、使い慣れないから答えられないということがないように、いろんな場面で慣れていくように使用していこうと考えております。

○長谷川教育長

はい。よろしいですか。それでは採決いたします。報告第12号「令和5年度全国学力・学習状況調査への参加について」原案どおり決することにご異議はないでしょうか。賛成いただける方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

はい。ありがとうございます。報告第12号は賛成多数により承認されました。

---

報告第13号 第2回山陽小野田市人権教育推進協議会の結果について

○長谷川教育長

それでは次ぎ、報告第13号「第2回山陽小野田市人権教育推進協議会の結果について」事務局、

説明をお願いします。

○船林社会教育課課長

はい。それでは「第2回山陽小野田市人権教育推進協議会の結果について」ご報告いたします。資料8ページをご覧ください。11月7日に第2回人権教育推進協議会を開催いたしました。当日の出席委員は16名、欠席は6名でございました。会議の内容は12月10日に開催するヒューマンフェスタについて、コロナ禍以前のように集合形式で実施する旨を説明し、開催についての理解を求めました。また、式典や講演の内容について説明し、当日の委員の参加と各地区の参加者の取りまとめについて確認し依頼をいたしました。また本年度の人権に関する作品の審査を行いました。標語作品については【小・中学校の部】と【高校・一般の部】から1名ずつ、ポスターについては【小学校の部】【中学校の部】【高等学校の部】からそれぞれ1名ずつ、計5名の優秀作品を選出いたしました。優秀作品につきましては12月10日の「ヒューマンフェスタさんようおのだ」の中で表彰を行っております。

以上で説明を終わります。

○長谷川教育長

はい。この件に関しましてご意見ご質問等ございましたらお願いします。よろしいですか。それでは採決いたします。報告第13号「第2回山陽小野田市人権教育推進協議会の結果について」原案どおり決することにご異議はございませんでしょうか。賛成いただける方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

はい、ありがとうございます。報告第13号は賛成多数により承認されました。

---

報告第14号 第2回山陽小野田市子ども読書活動推進計画（第四次計画）検討委員会の結果について

---

○長谷川教育長

それでは次にまいります。報告第14号「第2回山陽小野田市子ども読書活動推進計画（第四次計画）検討委員会の結果について」事務局、説明をお願いします。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

はい。「第2回山陽小野田市子ども読書活動推進計画（第四次計画）検討委員会の結果について」ご報告申し上げます。この回は書面開催により行いました。資料配布日が令和4年11月4日、意見の収集日が11月11日でした。すべての委員からご回答をいただきました。第1回目の検討委員会を終えていろいろなご意見をいただき、それが案に反映されているため第2回の検討委員会書面開催ではあまり意見は出ませんでした。ただ理科大から「おもしろ科学大実験」を例年図書館フェスティバルの中で開催してきましたが、学生のボランティアが十分育っていないということもあって、続けるのは難しいというお話がありましたので、それは文面を削除させていただいています。以上が主な会議の内容となります。

以上です。

○長谷川教育長

はい。ただ今の件に関しましてご意見ご質問等ありましたらお願いします。

それでは採決いたします。報告第14号「第2回山陽小野田市子ども読書活動推進計画（第四次計画）検討委員会の結果について」原案どおり決することにご異議はございませんでしょうか。賛成いただける方の挙手をお願いします。

（全員挙手）

はい、ありがとうございます。報告第14号は賛成多数により承認されました。

---

#### 報告第15号 山陽小野田市子ども読書活動推進計画（第四次計画）案の答申について

##### ○長谷川教育長

それでは次に参ります。報告第15号「山陽小野田市子ども読書活動推進計画（第四次計画）案の答申について」事務局、説明をお願いします。

##### ○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

はい。「山陽小野田市子ども読書活動推進計画（第四次計画）案の答申について」ご報告申し上げます。12月6日付で山陽小野田市図書館協議会の会長 香川真澄様から答申が出されました。異議なしと結論に達したという答申が出されました。この山陽小野田市子ども読書活動推進計画第四次計画の案について、その概要について少しご案内差し上げます。第三次計画が本年度で終わります。それに続けて令和5年度から令和9年度までの5か年の子ども読書活動の推進計画について第四次計画として策定するものです。この第四次計画の特徴としては、第三次計画で活動の柱を5つとしておりましたところを7つに増やしております。増やしたものの1つは「学校図書館蔵書と一元化による子ども読書の推進」ともう1つは「電子書籍の特徴を生かした子ども読書の推進」です。従来の「マタニティ・ブックスタートを起点とする切れ目のない子ども読書活動の推進」や「科学を柱にした子ども読書の推進」は第三次計画を引き継いで第四次計画でも推進していくこととしています。新たな取組といたしましては、32ページ33ページで○印を付けているものが新たな取組としてこの5か年の間に進めていこうとするものです。それから第三次計画になかったこととして数値目標を巻末に掲げさせていただきました。例えば1日の児童図書の出し出し冊数を何冊にするのか、そういう目標を置いて子ども読書活動の推進を進めていきたいというふうに考えております。

説明は以上でございます。

##### ○長谷川教育長

はい。この件に関しましてご意見ご質問等ありましたらお願いします。

私も事前にこれについて説明を受けて目を通しました。ページ数32ページと33ページ、ここに第四次計画の具体的な取組が記載されています。今後図書館としてこういったことについて取り組んでいくという具体案が示されていますので、また注意深く見ていただけたらというふうに思います。委員の皆様、よろしいですか。

それでは採決いたします。報告第15号「山陽小野田市子ども読書活動推進計画（第四次計画）案の答申について」原案のとおり決することにご異議はございませんでしょうか。賛成いただける方の挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

はい、ありがとうございます。報告第15号は賛成多数により承認されました。

---

報告第16号 第1回山陽小野田市図書館協議会の結果について

○長谷川教育長

それでは最後になります。報告第16号「第1回山陽小野田市図書館協議会の結果について」事務局、報告をお願いします。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

はい。「第1回山陽小野田市図書館協議会の結果について」ご報告申し上げます。これも書面開催で行いました。資料配布日は11月25日、意見票収集日は12月6日ということです。書面開催といたしましたのは、検討委員会と2度にわたり十分に検討していただいた後での案ということで、書面開催により行うということにしたものです。委員の皆様からは、これといったご意見はなかったのですが、このとおりに推進していただきたいというようなことを各委員からご回答がございました。それで委員全員の承認を得たということでございます。

報告については以上でございます。

○長谷川教育長

はい。この件に関しましてご意見ご質問等ありましたらお願いします。

はい、それでは採決いたします。報告第16号「第1回山陽小野田市図書館協議会の結果について」原案どおり決することにご異議はございませんでしょうか。賛成いただける方は挙手をお願いします。

(全員挙手)

はい。報告第16号は賛成多数により承認をされました。

---

その他

---

県費負担教職員の人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

---

市職員の人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

---

その他

○長谷川教育長

(3) その他について何かございますか。

閉 会

○長谷川教育長

それでは本日予定しておりました議事は全て終わりました。以上を持ちまして会議を閉じます。  
皆様、お疲れさまでした。

16時46分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第19条の規定により、ここに署名または記名押印する。

令和4年12月22日

教 育 長

印

署 名 委 員

印

署 名 委 員

印

会議録を調製した職員

印